

No.

資料Aはどんどん蝕まれていく。日常に皮肉  
を手紙に込めている。環境の悪化に対する直  
接的な表現はないが、とても考えさせられる。  
資料Bは地球と人間を、母と子どもに言い換  
えている。母子のやりとりとなることで親近  
感が生まれる。「見殺しにする」といって人  
を「殺す」というところには罪悪感が生まれる。資料  
Cはグラフを用いて未来の予測を踏まえ、話  
を進めている。見出しに未来で起こるであろう  
うことを簡潔に述べていて分かりやすい。

条件

- ①二段落構成とする。
- 第一段落は資料についてまとめること。
- 第二段落は資料についての感想や考察を述べなさい。
- ②常体(だ・である調)で書くこと。
- ③引用はできるだけ避け、自分の言葉で書くように工夫すること。

書き出しは「まず、  
改行の場合同じく書き出しは「まず、  
・」などの符号は原則として、つぎへ入れる。

分析・評価

第2段落ではまず3つの資料に共通点を見出ししている。A→B→Cと段階的に捉え  
て、「地球温暖化」について今後の自分の行動について述べることでできた。

分析・評価

3つの資料について自分なりに分析し、わかりやすくまとめている。Aに込められ  
た皮肉や手紙形式という工夫に気づいている。特にBについて、「母子のやり取りで  
あること」に注目し、そうすることで読む人に親近感や罪悪感を抱かせる効果がある  
と指摘している。